

主題：イザヤ書における神聖なエコノミー

メッセージ 27

神の新約エコノミーにしたがった四つの段階におけるすべてを含むキリスト(1)

受肉の段階において

聖書：イザヤ 53:1-3 . コリント 1:22-24 . コリント 8:9 . マルコ 6:1-6

. エホバの御腕は語りかけの予表であり、力におけるエホバご自身を表徴します。ですから、エホバの御腕は救う力における神ご自身です イザヤ 53:1 後半：

A . 主イエスが出て来て福音を宣べ伝えた時、それはエホバの御腕を現すことでした
ルカ 4:14, 18-19 . マルコ 1:14-15。

B . 旧約の用語はエホバの御腕です。新約の用語は神の力です コリント 1:24。

C . キリストはエホバの御腕として現されましたが、多くの方は、彼が力の中で来て彼らを救うエホバご自身であることを見ませんでした。彼らが信じなかったのは、彼がエホバの御前に柔らかい植物のように育ち、乾いた地から出る根のように育ったからです イザヤ 53:2 前半 . ヨハネ 1:46 . マタイ 13:55。

D . 主イエスが戻って来る時、イスラエルのレムナントは悔い改めて泣き叫びます(ゼカリヤ 12:10-14)。その時、彼らはイザヤ第 53 章の内容を告白し、この章は彼らにとって完全な味わいとなるでしょう。

. エホバの御腕、神の力として表徴される神全体として、キリストは、悲しみの人で表徴される完全な人と成りました イザヤ 53:1 後半, 3 前半 . ヨハネ 1:1, 14 . ヨハネ 2:5 :

A . エホバの御腕は力におけるエホバであり、悲しみの方はイエスです。この両方が共に加えられると、それは受肉と等しくなります。

B . コリント第 1 章 22 節から 24 節の十字架につけられたキリストはイザヤ第 53 章 3 節の悲しみの人と一致し、神の力は 1 節のエホバの御腕と一致します。

. 完全な人として、主イエスはへりくだった悲しみの方の生活を生きました 2-3 節 :

A . 彼はエホバの御前に柔らかい植物のように育ち、乾いた地から出る根のように育ちました 2 節前 :

1 . この植物は根を指しており、それは柔らかく、小さく、繊細です。彼はそのような小さい、繊細な方であったので、だれも彼に注意を払いませんでした。

2 . 彼は乾いた地から出る根のように育ちました。これは、彼が貧しい家庭に生まれたことを意味します 2 節中 . ルカ 2:21-24 . コリント 8:9 . 参照, レビ 12:8。

3 . 主イエスは、ナザレというさげすまれた町、ガリラヤというさげすまれた地域の貧しい大工の家庭に育ちました。これは、イザヤ第 53 章 2 節後半の乾いた地の成就でした。

B . 彼には、人が見るべき魅惑する姿も威厳もありませんでした 2 節後 :

1 . イエスには魅惑する姿はなく、美しい容貌もありませんでした。彼には、人が評価するような姿や美貌はありませんでした。

2. 威厳ではなく、彼には貧しさがああり、美しい容貌ではなく、彼には損なわれた顔立ちと姿がありました 52:14。
- C. キリストはさげすまれ、人々に捨てられて、人々が顔を背け、人々が尊ばなかった人のようでした 53:3。
- D. 主イエスは悲しみの人として生き、悩みを知っていました。これは、贖いを成就するためのキリストの資格づけの一部でした 3節前半：
1. 彼は享受、幸い、祝福の人ではありませんでした。
 2. イザヤ第 53 章，詩篇第 22 篇，ルカ第 22 章，マタイ第 27 章を考える時、さげすまれた悲しみの人としてのキリストの絵を見ます。
- E. キリストがそのような人であり、彼の生活がそのような低い悲しみの人々の生活であることは、彼が救い主となって、わたしたちをサタン、罪、死、自己から救うよう、完全に彼に資格を与えました ヘブル 2:14-18. マタイ 1:21。
- . マルコ第 6 章 1 節から 6 節は、イザヤ第 53 章 2 節から 3 節の預言の成就と考えられます：
- A. ナザレ人は、彼らの天然の知識によって盲目にされ、主イエスをその霊にしたがってではなく、肉にしたがって知りました マルコ 6:2-3. コリント 5:16。
- B. マルコによる福音書においてのみ、主イエスは大工と呼ばれています 6:3：
1. 大工仕事は威厳のある仕事ではありませんが、多くの細やかさと忍耐を要します。そのような働きにおいて、主イエスは人としての有り様で(ピリピ 2:8)、尊大さの中にではなく、へりくだり、細やかさ、忍耐の中に見いだされました。
 2. マルコ第 6 章 3 節で、大工という言葉はさげすむ方法で使われています：
 - a. ナザレ人は彼の教え、彼の知恵、彼の力あるわざに驚嘆しましたが、彼を低い身分の人と考えました 2-3 節。
 - b. 彼らは彼につまずきました。なぜなら、彼らは彼の口から出るすばらしい言葉を聞き、彼の幾つかの驚くべき行ないを見たのですが、彼には高い身分や地位はないと考えたからです。
 - c. 彼らは主イエスを単に大工と見ただけでした。ですから、彼らは彼につまずき、彼をさげすみました。
- C. マルコ第 6 章 1 節から 6 節の記録は、わたしたちが何を欲しているのか、何を重んじているのかを、自らに問わせるはずです。